

22. 熊本大学医学部附属病院改善計画書

領域	改善計画（H27. 3. 31現在）	改善状況①（H27. 12. 1現在）	改善状況②（H28. 12. 1現在）
その他（診療）	（次の組織評価までに改善する計画） 現在の看護師GRM（ゼネラルリスクマネージャー）2名体制から医療安全体制強化を図るため、複数職種によるGRM体制構築に向けて、医療安全管理委員会や執行部（会議体含む）での検討を重ね、できるだけ早期実現を目指して部内関係部署と調整を図っていく。	平成27年6月開催の副院長会議、運営企画会議、運営審議会において検討を行い、医師、薬剤師、看護師のGRMを各1名増員することが了承され、医師及び看護師は8月1日から配置を行った。なお、薬剤師は、平成28年4月1日までに配置することが決定している。	平成28年4月1日より、GRM（ゼネラルリスクマネージャー）薬剤師を1名配置しており、合計GRM5名体制とし、医師、看護師、薬剤師の複数職種による医療安全体制強化を図った。
その他（教育研究支援）	（2年間で改善する計画） 【専門修練医のキャリアデータ活用策】 平成29年度に実施される新たな専門医制度に基づく後期研修プログラムについて、平成28年度までに本院の各診療科等（院内で調整を要する場合、会議体を設置）において策定していくこととなり、医師のキャリア形成の在り方および各専門領域の後期研修プログラムの検討において平成18年度以降集積したキャリアパスデータを活用する。 （補足） ・本制度による後期研修プログラムは、地域の病院での研修を含むことを要件としており、各診療科において当該キャリアパスデータを活用し、医師のキャリア形成の在り方および各専門領域の後期研修プログラムを検討していく。 ・平成18年度以降の専門修練医のキャリアパス（地域病院研修を含む研修歴）を集積したキャリアパスデータは平成26年度末までに753名分	キャリアパスデータについては、平成26年度までにそれぞれの診療科等の専門修練医の県内外の医療機関への派遣実績をまとめ、内科系後期研修WG等の委員会をはじめ、後期研修プログラムの協力施設を決定する際などに現在活用している。今後も、各基本領域の専門修練プログラムの作成に活用していく。	キャリアパスデータについては、内科系後期研修WG等の委員会をはじめ後期研修プログラムの協力施設を設定する際などに活用し、平成28年4月までに18領域の後期研修プログラムの申請を終えた。新専門医制度導入が1年遅れたことから、必要に応じて活用していく。
	【総合臨床研究部の体制整備による臨床研究の推進】 平成26年10月に組織設置以降、運用体制（手順書等の作成含む）の確立に向け、毎月運営委員会を開催し、運用課題についての審議を行いながら、臨床研究の支援実績を積み上げていく。また、総合臨床研究部の人員確保についてもできるだけ早期に整えていくため、募集採用を行っていく （補足） 臨床研究中核病院の要件とされる人員体制を構築するには、約30名の増員が必要であり、複数年計画となる。 人員体制構築（増員）における財源確保が大きな課題である。	臨床研究の支援体制強化のため、H27年度に、新たに臨床研究コーディネーター（CRC）5名、倫理審査にかかる医師1名を増員し、毎月開催する運営委員会において、手順書、運用等の見直しを行いながら、現在、3件の臨床研究支援を行っている。また、岡山大学と9月30日にテレビ会議を行い、双方のモニタリング・監査の標準業務手順書（SOP）の擦り合わせ等を行い、今後、相互訪問（視察）を行うなど、協力して機能強化を図ることとしている。（11/19岡山大学から本学へ視察訪問）	平成28年4月から、研究シーズ探索センター及び研究展開センターに医師計3名（特任助教）を採用し、体制強化を図っている。 総合臨床研究部運営委員会を毎月実施し、業務案内、支援申し込み手順を示したホームページを開設した。第2回運営委員会において、統計支援業務（臨床研究に関する統計相談（データ収集方法、臨床研究デザイン、サンプルサイズの計算、解析依頼等））が了承され、実施に向けて進めている。 臨床研究CRC業務支援は、11月24日現在16件（モニタリング3件、データマネジメント5件、コーディネート5件（うち2件は転記）、統計解析3件）実施中である。
	（次の組織評価までに改善する計画） 【総合臨床研究部の体制整備による臨床研究の推進】 引き続き、毎月開催の運営委員会において、課題検討、運用体制強化に努め、人員の確保・体制整備を行い、臨床研究の支援・実績を積み上げながら、臨床研究の推進を図る	同上	同上
その他（男女共同参画）	（法人評価までに改善する計画） 各医局に配置した男女共同参画担当の活動状況について検証する。 （平成26年度実績：男女共同参画担当の会合 3月18日、3月20日実施。）	各医局との連携によりきめ細やかな対応が必要ということで設置された男女共同参画コーディネーターの会を10月21日、10月22日に開催し、年度はじめに依頼したアンケートの結果を報告した。さらに同門会における医師との連携を依頼し、今後も医局としての意見を集約する役割を担ってもらうことを確認した。	各診療科に配置した男女共同参画コーディネーター（医局長及び女性コーディネーター）の活動を検証するため、10月21日、22日の2日間男女共同参画コーディネーターの会を前日に引き続き開催した。 同会では、特に女性医師の職場復帰、離職抑制、子育て支援を目的に本院が取り組んでいる院内保育所の案内や医師短時間勤務制度などの紹介を行うとともに、各診療科の情報交換を行ったことで計画は達成できた。
	（2年間で改善する計画） 第Ⅱ期中期計画における数値目標は女性教員割合が15%であり、本院はすでに達成している。今後もこの割合を維持しつつ、さらに割合を増加させることに努めたい。	平成27年度の女性教員割合は15.2%であり、今後もこの割合を維持しつつ、さらに割合を増加させることに努めたい。	平成28年度の女性教員割合が14.2%（27.5.1現在は112人中17人、28.5.1現在は113人中16人）で、数値目標を0.8%下回った。 数値目標の15%を達成するため、本院男女共同参画推進委員会は、熊本県地域医療支援機構と共同で①男女共同参画コーディネーターの会、②クローバーセミナー、③支援情報会を開催し、女性医師のキャリア支援（復職・離職抑制のために必要な支援等）に引き続き努めている。
	（次の組織評価までに改善する計画） 第Ⅲ期中期計画において設定される本学の数値目標（平成29年度以降は女性教員の割合を概ね17%に設定予定。今後要検討）の達成を目指し、女性教員の割合を増加させることに努めたい。	さらに女性医師の割合を増加させるために行った医師キャリア支援に関するアンケートの結果をもとに女性医師のキャリア支援（復職・離職抑制のために必要な支援等）について、ニーズ（短時間勤務、院内保育の充実等）を確認した。今後、本院地域医療支援センターが中心となり、これらを具体化していくことに取り組んでいく。	前回実施した女性医師キャリア支援に関するアンケートの結果をもとに、特に要望が上位だった病児保育室（定員4人）を平成29年度当初に院内に開室予定である。 本院男女共同参画推進委員会が取り組んでいる支援情報交換会や支援のための制度説明会は継続して実施する。 また、女性医師女性医師のキャリア支援（復職・離職抑制のために必要な支援等）のためのニーズ収集のための女性医師支援に関するアンケート調査も、熊本県地域医療支援機構、熊本県医師会男女共同参画委員会、熊本県女性キャリア支援センターの協力を得ながらも継続して実施する。